



インターネットと上手につきあうために

～意外に多い高齢者トラブル～

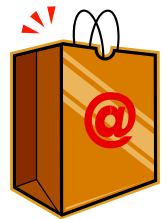


1. ネットケットを身に付ける。

インターネット上のエチケットの事をネチケットと言います。カタカナとアルファベットの羅列ではありますが、仕組みを知ることが、ネット上でも紳士、淑女でいる第一歩でもあります。インターネット上は、井戸端会議のように目には見えませんが、**世界中が見ている**事を意識し、知識とマナーを身に付けて楽しみましょう。

2. ネット通販の落とし穴

通信販売は不意打ち性がないことから、原則としてクーリング・オフ制度は適用されません。また、店舗販売と違い、注文・商品の受け渡し・支払いまでに時間差が生じることから、次の点には十分に注意が必要です。



返品条件

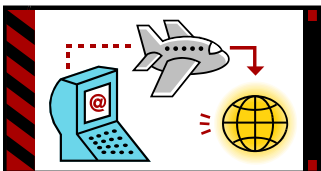
注文する前に、返品条件を確認しましょう。“開封後の返品は不良品のみ”と表示されている場合や“イメージ違い”“他の店で安いものが見つかった”などの自己都合では返品できないことを納得したうえで注文しましょう。

引き渡し時期と支払方法

代金前払いで、引き渡しは 1 ヶ月後・・・待っているうちにサイトが無くなり、連絡不能になるなど、値段だけで判断すると思わぬ落とし穴に落ちる事があります。注文前に評判を確認する、ネット通販の利用金額の上限や支払方法など、**自分なりのルール**を決めておくことも大切です。

気付いたら越境取引

海外の相手との取引を“**越境取引**”と言います。ネット上にパスポートはありません。「日本語のサイトしか見てないわ！！」と書いていても、サイト事業者の拠点が海外であったりと意識しないうちに“国境越えでお買い物”はよくある話です。トラブルになると、日本の法律は使えない、時差や商習慣などの違いもあり、**解決が難しくなる**事を知っておきましょう。



3. そのクリックが・・・

- ・ワンクリック詐欺
- ・出会い系サイト
- ・架空請求

身に覚えのない請求の場合、慌てて業者に連絡しない！
請求に対しては、**無視**することが重要です

4. SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

主なものとして、フェイスブック、ツイッター、ミクシィ、ラインなど仕組みをよく分からずに、アドレス帳をSNSに登録したところ、友人から「なぜ、自分のメールアドレスを教えたのか？」と苦情がくるなどということになります。

※ 写真とともに撮影した位置情報が掲載されて居場所や自宅が特定されることがあります。注意が必要です。



5. トラブル対策として

- ウイルス対策ソフトを導入する
- 不審なサイトに接続しない
- 怪しいホームページやメールに注意する（掲示板内のリンク、不審なメールの添付ファイル、短縮URLなどが悪質ホームページなどへの誘導に使われている）
- プライバシーに関する書き込みは、その後思わぬ形で広がることに注意する
- 常にネットリテラシー（インターネットを使いこなす基本的な能力）を向上させる

※ IPアドレスやメールアドレスが知られたからといって住所、電話番号などの個人を特定できる情報が明らかになるわけではありません。

6. スマートフォンにもセキュリティ対策を！！

- 基本ソフト（OS）の更新が必要です。古いOSを使っていると、ウイルス感染の危険性が高くなります。更新の通知が来たら、すぐにインストールしましょう。
- 使用しているスマートフォンはウイルス対策が必要か、携帯電話会社や販売店などに確認しましょう。
- OS 提供会社や携帯電話会社が安全性の審査を行っているアプリケーション提供サイトを利用するようにしましょう。インストールの際には、アプリケーションの機能や利用条件に注意してください。
- スマートフォンアプリには、危険なもの（不正アプリ）がある事を認識しましょう。



※ **野良アクセスポイント（Wi-Fiスポット）**

誰でも自由に接続できるアクセスポイントを言い、中には、**悪意のある者が接続者の通信内容を盗み取るために設置**している悪質なアクセスポイントもあると言われています。無料だからと言って安易に利用すると危険です。